



POCO a POCO

(ポコ・ア・ポコ)

三和中央病院

発行人：塚崎 稔 発行所：長崎県長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

<http://www.sanwa.or.jp>

印刷：昭英印刷有限会社 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231

POCO a POCO (ポコ・ア・ポコ) とは…

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。



三和中央病院は昨年10周年を迎えました。これもひとえに病院を支えて頂きました地域の皆様、医療福祉に携わってられる関係各位の皆様方のお力であり、ここに厚くお礼申し上げる次第です。病院開設10年という節目節目に、当法人は大きな事業を展開し発展してきました。昭和43年11月に塚崎病院が開設。その10年目に三和病院の建設が始まり、20年後には老人介護施設みどりの里が、30年後には三和中央病院の建設が始まっています。いままでの当院の歴史を振り返ってみますと、増床、拡張を繰り返し発展してきたといってもよいでしょう。しかし、これからの日本の精神医療は今現在本格的に改革の時期にきています。平成16年9月に「精神保健医療福祉の改革ビジョン」が厚労省より発表され、これから10年間の精神保健医療福祉の方向性が明示されました。その軸は「入院医療中心から地域医療中心」への方向転換です。平成21年には「精神保健医療福祉のためのあり方検討会」で、精神科病院、精神科クリニック、訪問看護ステーションが地域で患者さんを支える機能として看護や診療を普及させる指針、平成22年には「新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム」が編成され、昨年は具体的なプランが国から出され多職種によるアウトリーチ事業が予算化されました。ようするに如何にして疾病を予防して早期に医療に結びつけるか、悪化する前に早期に治療するかに焦点が当てられ、訪問看護、訪問診療、生活支援、就労支援、包括的地域生活支援(ACT)という手法が精神科医療福祉のメインとなり、いままで病院のなかだけの仕事から病院の外への仕事へ移ってきています。当院においては、長期入院の患者さんをできるだけ地域社会のなかで支えていくためのグループホームを計画しこの春に移動させました。また、外来機能を充実させるためにサテライトクリニックを計画しています。それが地域と結びついて病院運営の柱にしていきたいと考えています。さらに院内には地域移行推進室を設置し、多職種チームによって退院患者さんを支援していきます。そして当院の病床数を53床削減し702床といたしました。空いた病床は外来患者さんのためのデイケアなどリハビリ施設に転換していくことができます。病床数が少なくなったことは、それだけスリム化したことでそのような運営がやりやすくなったことです。そしてよい病院づくりはやはり人です。よい人材を育てていくことが必要です。



昨年に三和中央病院開設10周年を迎えて、これからさらに大きく変化していく病院にしたいと思います。希望を持ってとりくんでいく所存です。

平成24年11月1日 院長 塚崎 稔

第11回三和中央病院秋祭り

秋晴れの空の下、秋祭りが開催されました。朝早くから用意した各店舗の出店は、どこも賑わい、大盛況でした。ダンス・カラオケ・ハーモニカ演奏・保育園の園児による出し物・e-エクササイズ・楽器演奏・炭坑節といった様々な出し物もあり、沢山の温かな拍手が送られていました。



松本副院長先生の挨拶。



カッコいいダンスを披露してくれました。



院内で行った演奏。素敵な音色に包まれました。



今年初めての試みである認知症や栄養・腰痛相談ブース。



素敵な音色を響かせてくれたハーモニカ演奏。



保育園園児の踊りと歌、拍手喝采です！



毎年行っているe-エクササイズ。職員にとっても好評です。



沢山の観客の前でカラオケ。気持ちよさそうでした。

沢山の催し物があり、とても好評でした。

販売してすぐに売り切れ！



秋祭りで使用しているやぐらは、前日より当院スタッフが手作りしています。会場設営はチームワークで迅速に行う事が出来ました。皆さんお疲れ様でした。

ひかりのくにの運動会



10/27(土) 三和体育館にて0～6歳児までの園児27名が元気に参加しました。子供たちのがんばっている姿に、お父さんお母さんはもちろん、おじいちゃんおばあちゃんも大きな声で声援をおくり、賑やかな運動会となりました。

精神科デイケア

退院してすぐに自宅での生活や就労は、精神疾患を持たれている方にとっては、急激な環境の変化によりストレスの蓄積の要因となり、病気の再燃につながりやすくなります。デイケアは病院と退院生活の中間でクッション的な役割を果たしています。よってデイケアの対象は退院された外来通院者となります。

また、デイケア、デイ・ナイトケア、ショートケアがあり、参加は通所者の意志によるので、自由に休んだり参加したりできます。新館1階の作業療法室奥にあるデイケア室で、月曜日～金曜日まで毎日実施しています。

祝日・土日は基本的にはお休みです。医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、支援員と様々な職種のスタッフ14名で、色々な角度からのサポートが出来るよう努力しています。

デイケアの種類

	1日の活動時間	食事
デイケア	6時間	1食
デイ・ナイトケア	10時間	2食
ショートケア	3時間	なし

通所者の方って1日をどう過ごすの？

デイナイトケアの方は下記の通りの予定で過ごします。デイケアの方は午後の活動まで。ショートケアの方は朝の活動または昼の活動のみ参加となります。

8:45	朝の会	15:30	活動準備
9:30	活動準備	16:00	夕の活動
10:00	午前の活動	18:00	夕食
12:00	昼食・昼休み	18:30	帰宅準備
13:00	活動準備		
13:30	午後の活動		

プログラム紹介

統合失調症などの精神疾患の方へのプログラムとアディクションの方のプログラムを行っています。プログラムの多くは通所者が、月1回の話し合いで決めているものです。強制はせず、通所者の意志を尊重しています。

精神疾患プログラム

- 院外活動プログラム
ドライブ・バスハイクなど
- スポーツ
ゲートボール・ミニバレーボール・卓球など
- 学習プログラム
生活技能訓練（SST）
・心の健康シリーズなど
- 日常生活支援プログラム
料理・買い物・暮らし支援講座など
- 復職支援プログラム
地域の共同作業所・授産施設の見学と体験

アディクション(依存症)プログラム

- ARP (アルコールリハビリテーションプログラム)
アディクション勉強会・資料学習会・日常内観・院内例会・酒害相談など
- 身体機能改善プログラム
農耕作業・ボランティア活動・体育館スポーツ・体力づくりなど
- レクリエーション的プログラム
ボーリング・趣味クラブ・娯楽クラブなど



デイケア室内の風景



活動の様子

スタッフ
より



現在、Dr 1名、Ns 6名、PSW 2名、OT 3名、支援員 2名の計 14名でやっています。みんなの力で依存症のプログラムと精神疾患のプログラムを分けて行うことがようやく出来るようになってきました。参加メンバーも徐々に増えてきています。スタッフもメンバーも明るくて楽しい方ばかりです。是非見学に来てください。楽しいよ！！

NEW FACE!



看護師 5 名、看護補助者 3 名入社しました！

★ NEW FACE 募集 ★

- ★看護師
- ★准看護師
- ★看護補助者
- ★薬剤師



私たちと一緒に働きませんか？
 小さなお子さんがいらっしゃる方も院内保育園があるので安心してお仕事できます。
 詳しくはホームページをご覧くださいか、
 当院へ連絡ください！！

院外〇T活動

とまとキャンフ



普段見せない一面がみられたり、患者様同士の交流もあり、有意義な時間を過ごされていました。

南6 白木峰ドライブ



病棟全体の 1/3 の 20 名が参加しました。天候も良く、スケッチブックやカメラを持参された方もいて皆さん楽しい時を過ごされていました。

風邪のシーズンがやって来ました!!



Happy Wedding



藤村薬品杯ソフトボール大会

毎年恒例のソフトボール大会。練習の成果を発揮し、みなさん頑張りました！



● 編集後記 ●

2008年に第1号を発行してから4年。ようやく第10号を迎える事が出来ました。広報誌発行にあたりご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。『POCO A POCO』は今後も皆様に沢山の情報を伝えていきたいと思っています。

〈広報誌スタッフ一同〉

○三和中央病院ホームページでは、新着情報・学会報告・今後の予定などリアルタイムで更新しています。

詳しくはこちらまで→ <http://www.sanwa.or.jp>

三和中央病院

検索



医療法人 清潮会 三和中央病院
 診療科目：精神科・心療内科・内科・歯科
 〒851-0494 長崎県長崎市布巻町165-1
 TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588
 E-mail : info@sanwa.or.jp

グループホーム ハートハウスさんわ
 〒851-0403 長崎県長崎市布巻町72-1
 TEL 095-892-8780・FAX 095-892-8780